

# 営 農 情 報

令和5年3月31日発行

第4号

**茎数を調査して秋まき小麦の起生期追肥を実施しましょう！**

本年の秋まき小麦は「雪腐病」等の被害が少なく、越冬茎数が多い状況です。

茎数については9月中旬播種の圃場で1,100本/m<sup>2</sup>程度、9月下旬～10月上旬播種の圃場で800本/m<sup>2</sup>程度となっており、起生期追肥量については各圃場の茎数によって異なる為、茎数調査を実施した上で追肥量の調整を行いましょう。

**起生期追肥時期(目安):4月15日**

※移植水稻との作業競合が発生する場合は追肥時期を早めましょう。

<起生期茎数に応じた起生期・幼穂形成期追肥量の目安>

| 起生期茎数<br>(本/m <sup>2</sup> ) | 窒素追肥量(kg/10a) |       |
|------------------------------|---------------|-------|
|                              | 起生期           | 幼穂形成期 |
| 1,000本以上                     | 0             | 6     |
| 800～1,000本                   | 2             | 4     |
| 800本未満                       | 6             | 4     |

収量・品質を確保する上で、起生期の肥培管理は非常に重要です！起生期に過剰な追肥を行うと無効分けつが増加し、細麦の発生に繋がります！

## 茎数の調査方法について

《条播の場合》

- ①畝50cm間の茎数を数えましょう。(2カ所)
- ②2カ所の茎数を足して、畝幅で割りましょう。

**【式】**  $100 \div \text{畝幅(cm)} \times \{ (50\text{cmの茎数}) + (50\text{cmの茎数}) \} = \text{m}^2\text{当たりの茎数}$

《大豆間作の場合》

- ①平均的な2カ所で調査しましょう。
- ②0.66m×0.3mの広さの中の茎数を数えましょう。

**【式】**  $2\text{カ所の茎数の合計} \times 5.05 = \text{m}^2\text{当たりの茎数}$

**まずは茎数の調査を実施しましょう！！**

JAみねのぶ 営農販売課  
TEL 0126-67-2334 FAX 0126-67-2803